

2023年 2月 21日

2022年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 NPO 法人子どもアミーゴ西東京

代表者・役職名 氏名 田島 和也

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

「だがしや楽校」

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2007年度からの西東京市における放課後学童クラブの民間委託を契機に、学童クラブ父母会の連絡会に関わってきた保護者が中心となり設立。自らが民間委託の受け皿になると共に、子どもに関する行政の責務を明確にするために法人を作りました。2011年度から、児童センター事業を受託。地域との協働、連携実現のため、受託事業だけではなく、地域連携事業も継続的に行なってきました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

我々が日常的に関わっている子ども達、子ども達の家族が地域とつながっていき、地域の一員となることは、子どもにとっての安心安全なまちづくりにつながると思います。そういった機会が、学童クラブでの生活や、児童館活動の延長線上で、だがしや楽校の場において創出されることは、施設運営事業と地域づくりが結びつく形と言えるのではないかと考えます。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

市の公園を貸し切り、当団体が運営する学童クラブから、子ども達、保護者も協力して、手作り品販売や遊びのブースの出店。児童センターを利用する中高生による遊びブースの出店。

子ども達の日頃の技を見せ合う「ベーゴマ大会」を実施。

上記のようなコンテンツで、団体職員、団体からのボランティア、関わる子どもたちによりイベントを運営します。

例年ですと、市内の関連団体による出店や、他地域交流事業先となっている、福島県いわき市の学童クラブからの手づくり品や特産品販売の出店なども実施していましたが、コロナ禍の状況を踏まえ、内部での出店をメインに実施しました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの「効果」 300文字程度まで

来場者約600人。イベント運営職員・関係者約40名。だがしや楽校の目的の一つ【自分見せ】を基にステージブースを設け、学童・児童センターにかかわる子ども達が『魅せる・見る』場面を作れたことが良かったです。自分を表現できたことで、子どもたちの自信や希望に繋がり、各施設での遊びがさらに盛んになり、その後の生活の中でも変化が見られました。保護者の方々からも連絡帳を通じてたくさんの反響をいただけたことは、子どもたちの成長を実感できた瞬間でもありました。また、アミーゴを卒業したOBOGやその家族の来場も多数あり、アミーゴと地域との繋がりを再認識することができました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

これまで市内南部地域で実施をしてきましたが、北部地域の人が行きやすい場所、また来場者が増えた場合のスペース確保の為に実施場所の選定が今後の課題であると考えます。また、次年度以降地域との関わりをさらに強くしていくためには、コロナ以前で行なっていた地域団体の出店が必要不可欠です。さまざまな方面へのアウトリーチや、実施に向けての広報の工夫をして、地域に根差したイベントにしていければと思います。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。



アミーゴ通信

だがしや楽校が開催されました！

「だがしや楽校」は、駄菓子屋が地域の「場づくり」に果たしてきた役割が着目されて全国に広がった、地域のお祭りです。子どもアミーゴでも早くからその活動に注目し、学童、児童センターの子ども達や団体が、地域とつながる場づくりの活動として取り組んできました。

昨年11月に3年振りの開催を計画しましたが、残念ながら雨天中止となりました。嬉しいことに保護者の方など関係する皆さまから開催を希望する多くの声をいただき、今回、開催の運びとなりました。

当日は朝から真冬の寒さとなりましたが、多くの子ども達や保護者の方々が、それぞれの地域の学童クラブや児童センターの出店やイベント運営のお手伝いをしてくださいました。手作り小物や遊びのブースなど、だがしや楽校の主旨である「自分見せ=自分のお店」として目いっぱい表現していました。

お店やブースの他にも、日ごろから学童で友達と楽しんでいるダンスを披露する子や、チアダンスクラブの子ども達によるチアダンス、スタッフによるジャグリングなどのステージプログラムに、来場した皆さんは目を奪われていました。メインイベントのベーゴマ大会では、だがしや楽校史上初めて、並みいる強豪上級生たちを倒した小学1年生4人が決勝トーナメントに進むという快挙を成し遂げました。優勝した1年生男子の、優勝記念の改造ベーゴマを手にして、少しはにかみながらも誇らしげな笑顔が印象的でした。

当初の予想を大幅に超えて、およそ600名もの皆さんに来場していただきました。2020年から中断して3年ぶりの復活となっただがしや楽校ですが、来年もさらに多くの皆さんが関わりを持つことができる場にしたいと思います。

*本事業は眞如苑 2022年度多摩地域市民活動公募助成事業として実施されました。



白熱のベーゴマ大会



最後は記念撮影
みんなで作ったお祭り、お疲れ様でした！



巨大コリントゲーム



いらっしゃませ！



中高生年代も大活躍

NPO市民フェスティバルに出展しました！

1月21日（土）からスタートした第14回NPO市民フェスティバルに参加しました。この催しは、市内で活動するNPO法人や市民団体が、市民の皆さんに活動の様子を紹介したり、団体同士が互いの活動に役立つ情報交換をする場としてスタートしました。子どもアミーゴ西東京は、立ち上げからこのイベントに関わってきました。西東京市市民協働推進センター「ゆめこらぼ」が事務局となり、市民の方々が公募により実行委員会を組織して企画運営しています。

今回は、谷戸町にあるショッピングモール「フレスポひばりが丘」で21日から27日まで各団体の活動紹介パネルが展示され、開会式には西東京市長も参加されました。展示と同日よりオンライン会場も開設され、各団体の活動紹介動画が公開されました。紹介動画は2023年3月末まで、ゆめこらぼのホームページから視聴できます。

当団体も今年新たに動画を作り投稿しています。団体内の広報チームが中心となり各施設より素材を集め、一本の動画にまとめました。テーマは「放課後の時間っていいな！」です。動画冒頭の人文字作りには子ども達も一役買ってくれました。ぜひ、ご覧ください。



会場の様子



団体紹介パネル



イベント入口

15周年記念行事開催のお知らせ

アミーゴ通信1月号でもお知らせしましたが、子どもアミーゴ西東京創立15周年記念行事についてご案内いたします。これまで私たちが積み上げてきた放課後子ども支援の分野における蓄積と、地域で取り組まれている様々な子ども支援や家庭支援、街づくりの活動を、これからどのようにつなげていき新しい連帯、連携を作っていくのか、「つながり」をテーマとしたパネルディスカッションとグループ討議の形で皆様と語り合う場を作ります。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催日時： 2023年2月26日（日）14：00～16：45
会場： 西東京市コール田無 イベントルーム
参加方法： 右のQRコードから申し込みフォームを送信ください
（会場参加の場合は当日参加も可能です）



Instagram

アミーゴ通信 2023年2月号

発行日：2023年2月8日 発行者：松本 毅
住所：西東京市西原町1-5-13-101 電話：042-478-0056
e-mail：info@kodomoamigo.org



ホームページ



Children's Amigo
Nishitokyo
子どもアミーゴ西東京



フェイスブック